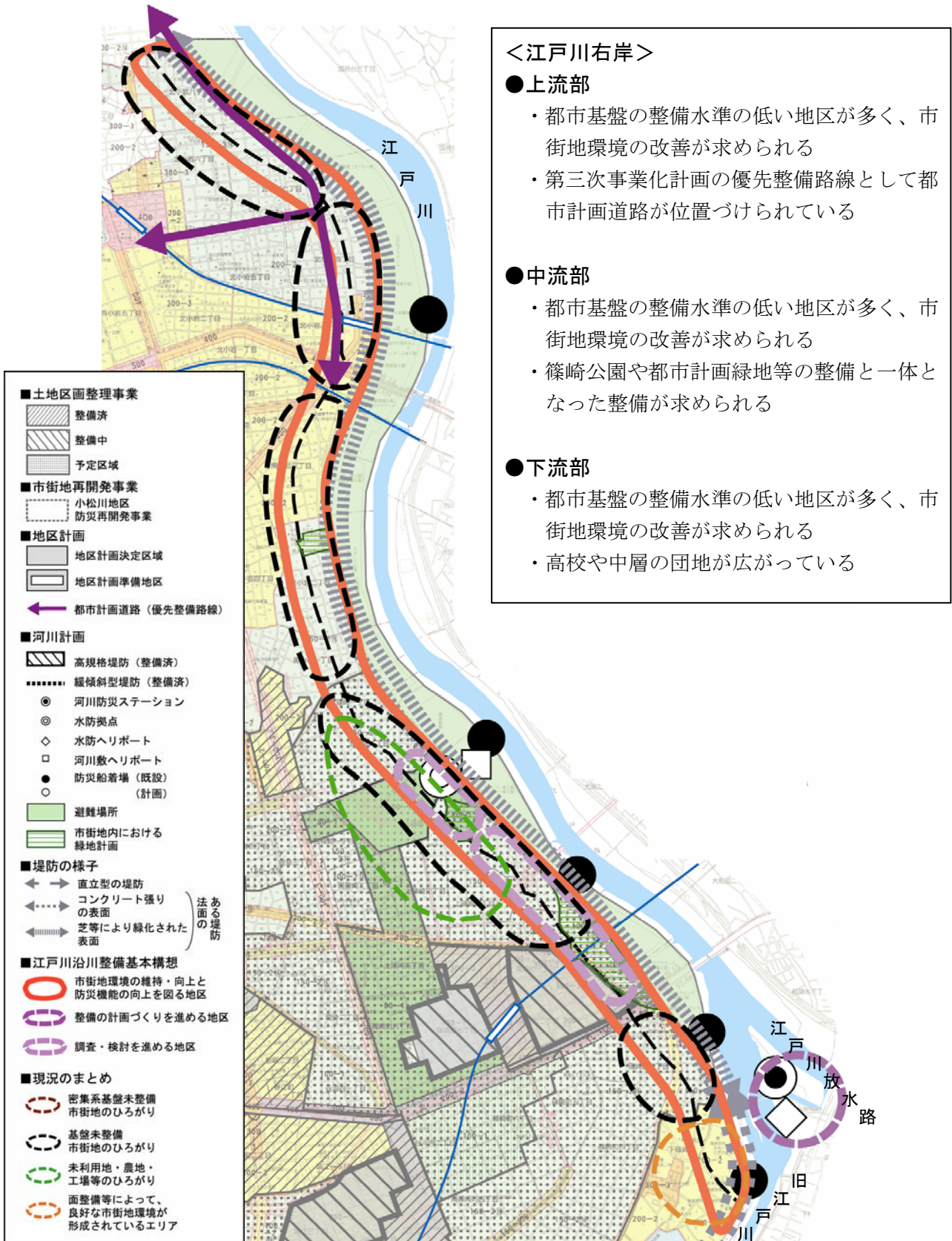


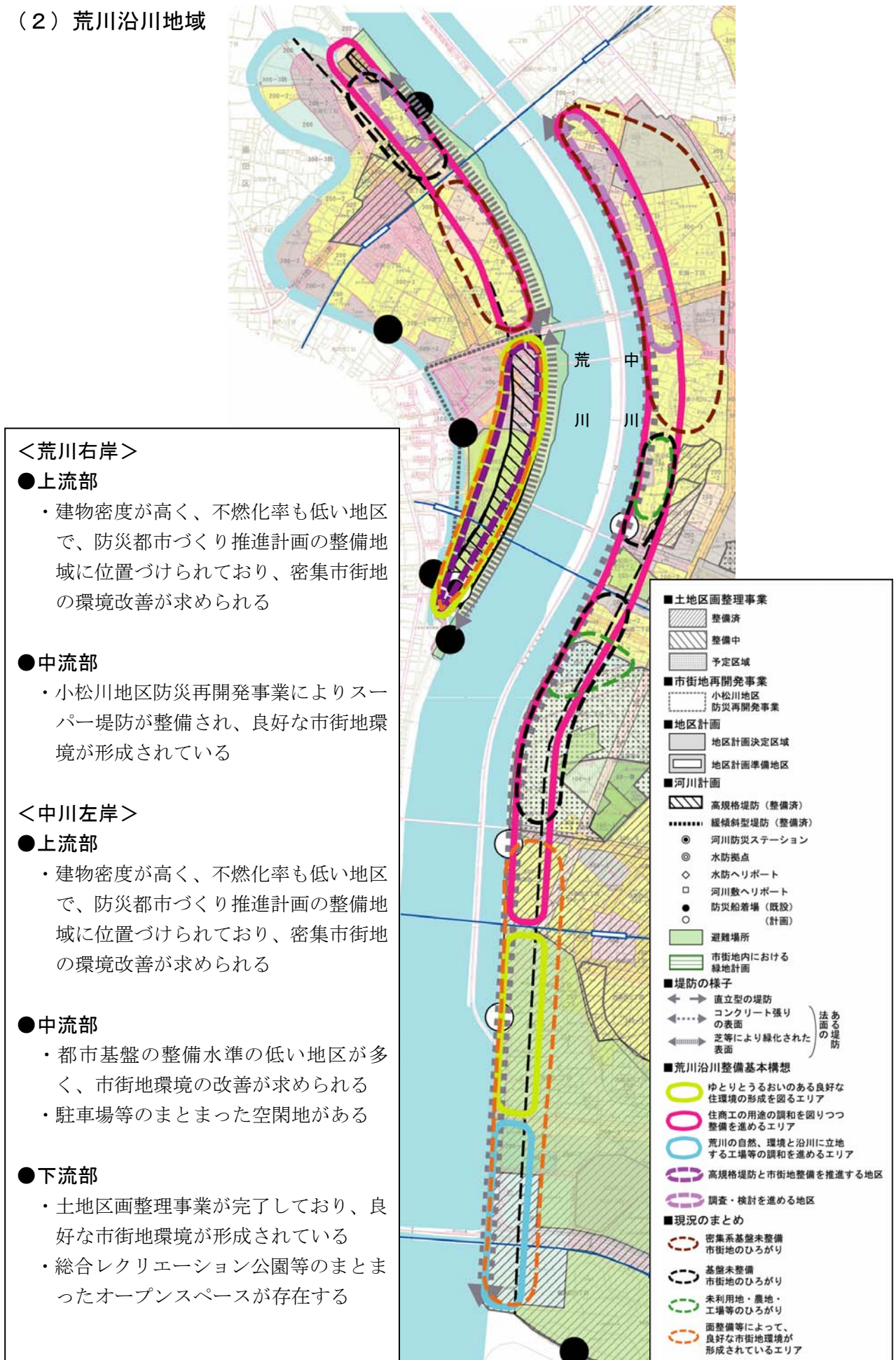
4. 沿川地域の現況と課題

<江戸川区の沿川の状況 ～現況・上位計画・課題～>

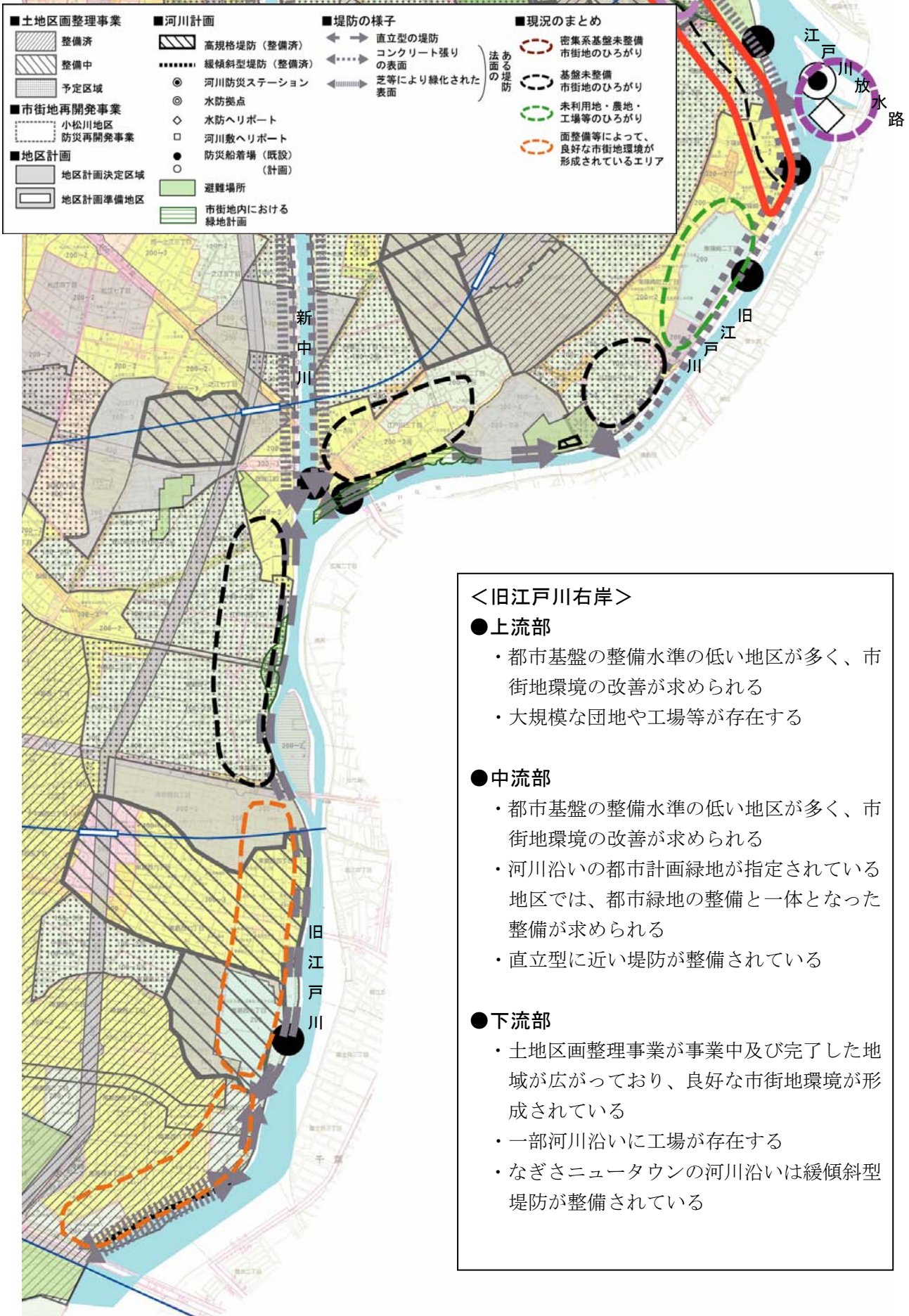
(1) 江戸川沿川地域



(2) 荒川沿川地域



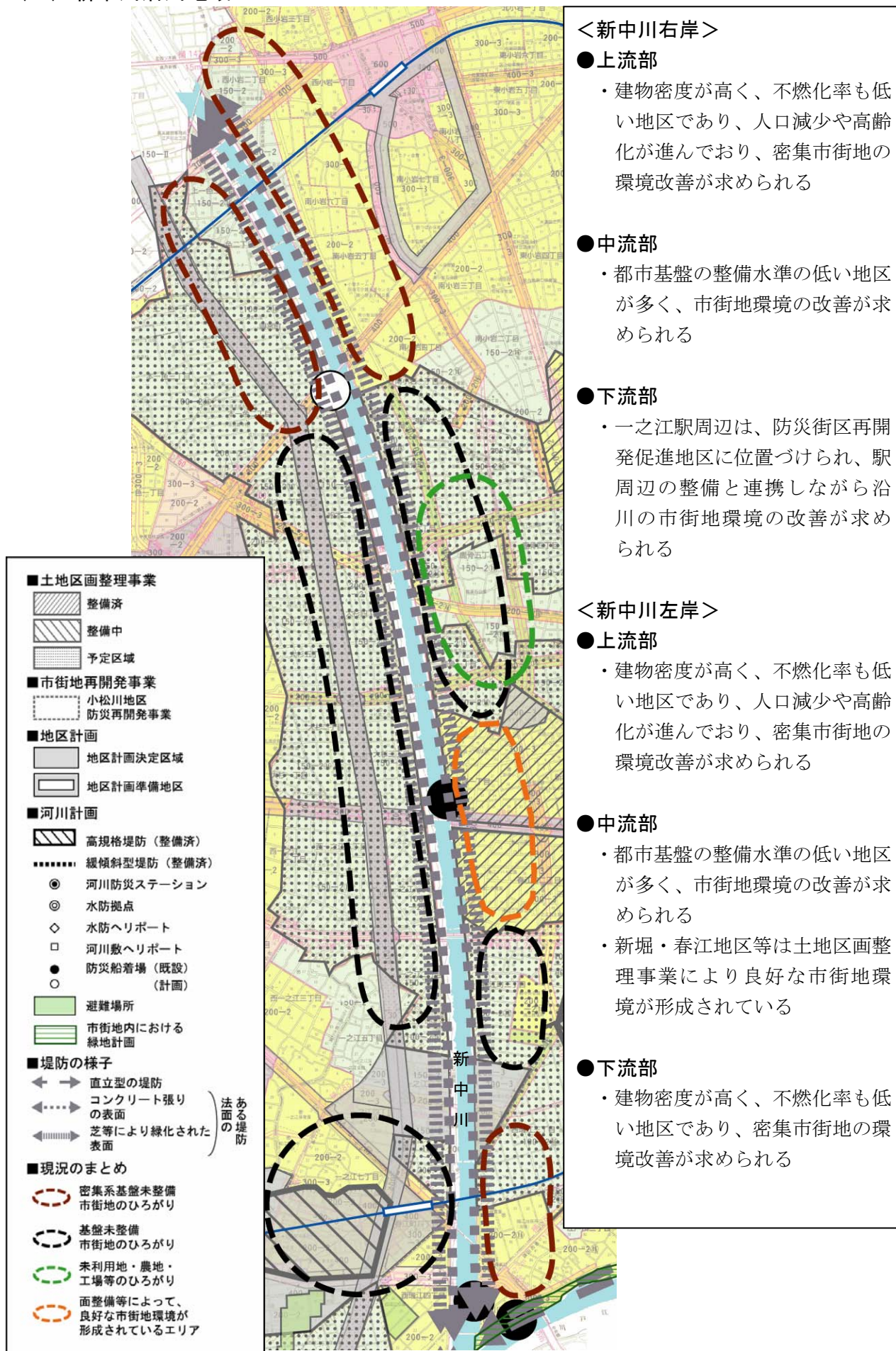
(3) 旧江戸川沿川地域



<旧江戸川右岸>

- 上流部
 - ・都市基盤の整備水準の低い地区が多く、市街地環境の改善が求められる
 - ・大規模な団地や工場等が存在する
- 中流部
 - ・都市基盤の整備水準の低い地区が多く、市街地環境の改善が求められる
 - ・河川沿いの都市計画緑地が指定されている地区では、都市緑地の整備と一体となった整備が求められる
 - ・直立型に近い堤防が整備されている
- 下流部
 - ・土地区画整理事業が事業中及び完了した地域が広がっており、良好な市街地環境が形成されている
 - ・一部河川沿いに工場が存在する
 - ・なぎさニュータウンの河川沿いは緩傾斜型堤防が整備されている

(4) 新中川沿川地域



(5) 沿川地域の市街地整備上の課題（まとめ）

○密集市街地の改善

荒川右岸上流及び中川左岸上流、新中川右岸上流及び左岸上流・下流等においては、低い不燃化度や建て詰め、敷地面積 100 m²未満の狭小宅地等が多く、市街地環境の改善等が必要である。

また、安全・安心な都市空間を形成するためには、幅員 4 m 未満の狭隘な生活道路の改善等が必要である。

一方、適正な土地利用の誘導を図るためには、住工混在地の整序化や密集している商店街の活性化等も必要である。

○基盤整備の推進

江戸川右岸、旧江戸川右岸上流及び中流、新中川右岸及び左岸の中流等においては、都市基盤整備水準が低い市街地が多く、道路の整備や身近な公園の確保等が求められる。

また、土地区画整理事業施行予定区域に指定されている地区においては、建築制限があること等から、早急な対応が必要である。

○河川沿いのアクセスの強化

江戸川右岸上流及び中流等においては、河川沿いに未整備の都市計画道路等があること等から、河川沿いの幹線道路の整備や、堤防上の並木や溜まり場づくり等の歩行者動線の魅力化等が必要である。

また、河川空間においては、広域避難場所や防災船着場等の防災機能があること等から、河川空間への横断方向のアクセスを確保及び強化することが必要である。

一方、中川においても、河川空間への歩行者アクセスや荒川左岸への人道橋の設置が必要である。

○水辺アメニティの向上

江戸川右岸、荒川右岸等においては、河川敷に多彩なグラウンドや広場等が広がっていること等から、貴重な水辺のレクリエーション空間として、その魅力化を図ることが必要である。

また、直立型に近い護岸は、空間面や利用面において、河川空間と市街地を遮断していることから、水辺アメニティの向上のためには、その解消を図ることが必要である。

一方、コンクリート三面張りの堤防は灼熱帯となり、市街地側への河川冷気を遮断していることから、そのような堤防区間では、堤防の緑化対策が必要である。